

# 府障教ニュース

大阪府立障害児  
学校教職員組合  
大阪市天王寺区  
東高津町7 11  
府教育会館704号  
(TEL)6765-8904  
(FAX)6765-8905

# たくさん学んで、たくさん笑顔に!

## 第28回青年フェスタ



講演する諏訪原健さん

2月18日、19日、第28回青年フェスタが箕面観光ホテルで開催されました。今年度も、府障教からたくさんの方が参加し、未組合員も含めて300人を超えました。フェスタ全体の参加者も、2日間のべ約500人と盛況でした。

1日目の全体会ではSEALDS(自由と民主主義のための学生緊急行動)のメンバーとして、安保関連法反対の抗議活動を国会前で行った諏訪原健さんが、「民主主義は止まらない」と題して講演しました。諏訪原さんは、2013年末に特定秘密保護法が成立して以降、集団的自衛権や安保法制、憲法改正と、どんどん戦争する国へ流れていく中で、「民主主義って何だ?」と思っていたと語りました。でも、諏訪原さん自身が、「デモって怖い」というイメージを持っていて、そのイメージを自分たちで変えていくことと考えられたそうです。

具体的には、まず「デモをフライヤー」と呼び、自身はピラですが、「(笑)」「サウンドデモで盛り上がる」「ホームページでそれぞれの政治に対する思いを語り(書き込み)」「あおう」などと広く呼びかけていきました。諏訪原さんは、そういう中で、「民主主義ってこれだ!」と思えるようになったと語りました。こうして、自分たちの思いを伝える「SEALDS」ができたのだと、諏訪原さんは力強く訴えました。

今、私たちに必要なのは自分たちで考え、同じ思いを



交流会も盛り上がりました

持った人たちがつながっていくこと、また、組合のマイナスイメージを変えていくことが大切なんだと、改めて感じることできた記念講演でした。

### 参加者の感想

先輩の先生方のお話をきいて、なるほどと思うことがたくさんありました。グループでの話し合いでは、授業力も大切だが、結局は教師の人間力が一番大切、ということが改めてわかりました。「若さを武器」にがんばりたいと思います!! 勇気づけられました。ありがとうございました!

交流発表会、先生方のアドバイスありがとうございました。先生方の悩みが、僕と一部重なっているところもあり、意見の共有ができました。

初任~3年目の先生で集まって意見を出し合ったことで、気楽に話すことができてよかった。また、先輩の先生の話聞いて学ぶことがたくさんあり、本当に充実した時間になった。交流しながら学ぶ機会があるということは幸せなことだと思った。

レポート交流会では、今年度も特別支援教育で知的・肢体・学級による3つの分科会が開かれ、青年に「ふれる・つくる」感触遊びの2本のレポートが発表されました。生き生きとしたレポートに、フロアからも質問や共感の感想が多く寄せられました。後半の小グループに分かれての意見交換会では、経験年数ごとに分かれ、レポートの感想や日々の悩み、お互いの学校の実態や子どもの様子などを交流しました。どのグループもとても盛り上がり、活発な意見交換ができました。

2日目の実技講座では、明日からすぐに役立つ実践から、じっくり学ぶ講座まで、充実の内容で、学びを深めることができました。

府障教ホームページアドレス <http://www1a.biglobe.ne.jp/fushou/>

Eメール アドレス : fushoukyou\_1@mtb.biglobe.ne.jp



東日本大震災と福島第1原発事故から6年がたちました。しかし、避難者は未だに12万3168人(2月13日現在)にのぼり、県外への避難者は、福島県3万9598人・宮城県5434人・岩手県1315人となっています。

そんな中で、安倍政権は原発事故に伴う避難指示の解除をすすめています。今春には浪江町、富岡町、飯館村の帰還困難区域を除く全域と、川俣町木屋地区の避難指示が解除され、対象者は4町村合わせると少なくとも3万2千人となります。これにより、町全域にわたる避難指示は大熊町と双葉町だけとなり、避難区域は当初の約3分の1に縮小します。

避難指示解除は、本来なら避難者にとってうれしいことなのですが、現実はその甘いものではないです。解除に合わせて開設する診療所も診察は限られます。住宅解体が激増して戻れる家はわずかですが、公的住宅の整備は間に合っていないです。除染されたといっても、線量は高い状態です。ふるさと帰還を実現するためには、医療・福祉、買い物、学校、雇用といった最低限の生活条件整備が必要です。原発事故によって奪われた、地域のコミュニティや環境の回復も大きな問題です。

ところが、安倍政権のやり方は、さあ、みんな帰れ」と旗を振るだけで、安心して帰れる町に戻すためのプログラムは白紙の状態です。それどころか、避難指示解除と賠償や支援の打ち切りをセットにして、仮設住宅打ち切り、復興公営住宅の家賃賠償の打ち切り方針まで既示しています。避難者に新たな苦しみを強いる、こんな無慈悲な姿勢は許せません。

# 全国障害児学級・学校交流集会に参加して(感想その6)

全国障害児学級・学校交流集会の感想として、堺聴覚支援学校分会の森訓分会長から堺ろう学校分会ニュース「百済川通信」が情宣部に届きました。「百済川通信」に掲載された森分会長の記事を抜粋して紹介します。



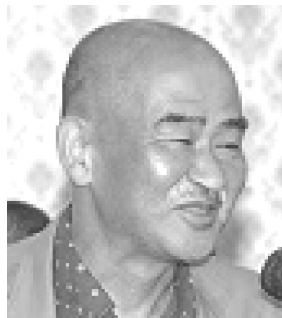
先生が今日学校に来ると思っていたよです。朝からここに来て動かないんです。それから私のユウヤへの思いが劇的に変わりました。子どもたちへの思いが劇的に変わりました。

モデルとなった山田先生が「私は自信満々の教師だったんですよ。それが、ユウヤ重度の生徒にも、もつ完全に打ちのめされたのです。毎日学校へ行くのが苦しくて、苦しくて、首をくぐるつかつとも思っただけです。」

「父の葬儀で5日間ほど、学校を休まなければならなかったのです。そして、久しぶりに学校に行くと、玄関に座っているユウヤがいて、私を見てニコッと笑ったのです。一緒にいた先生が『どうやら山田君があるんですよ。』

言葉は若干違っているとは思いますが、話の真意は間違っていないと思います。どうでしょうか。

学校の映画まだご覧になっていない先生も多いかと思えます。なので、映画会をそのうち企画したいと思えます。平日では難しいかな? 春休みかな? 障がい児教育に関わる先生方は是非とも見るべき映画だと思いますよ。

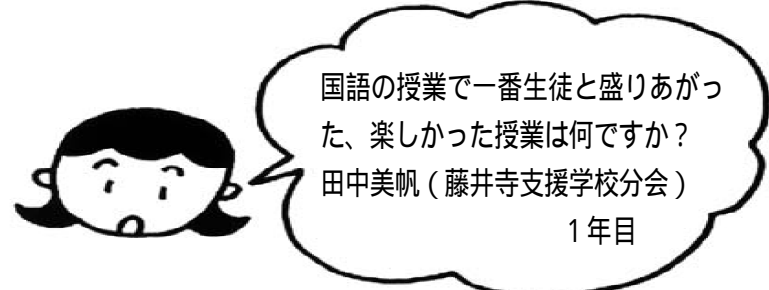


堺聴覚支援学校分会 森訓分会長

全国障害児学級・学校交流集会の感想として、堺聴覚支援学校分会の森訓分会長から堺ろう学校分会ニュース「百済川通信」が情宣部に届きました。「百済川通信」に掲載された森分会長の記事を抜粋して紹介します。

## 先輩に聞こう!

Vol.18



国語の授業で一番生徒と盛りあがった、楽しかった授業は何ですか?  
田中美帆(藤井寺支援学校分会) 1年目

授業がうまくいって嬉しくなり、ダメだったと落ち込む、そんなことの繰り返しですね。何年やっても同じです。盛り上がった楽しい授業、これは難しい質問です。この日盛り上がったと思っても別の日では全然、というのはよくあることです。

私は、授業の盛り上がり方ば その教材に自分がどれほど感動しているかによるのかなと思います。自分の感動、自分の感じている面白さを「この生徒たちにも伝えたい」と思い、この生徒たちには、どうやったら伝わるだろうと準備する。そんな時の授業は盛り上がります。だから、同じ教材でも自分の感動が薄れた状態でやると盛り上がりません。

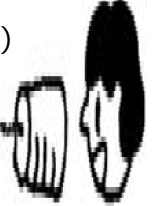
私は中学部で、言葉や文章で自分の考えをそれなりに表現できる生徒を対象にした授業をすることが多かったのですが、例えば、灰谷健次郎の『ろくべえまってるよ』本屋で絵本を見つけ、子どもたちが穴に落ちた犬を何とか助けようと知恵を出し合い行動する話に感動し、絵を写してパネルシアターを作り、パネルを貼ったりはがしたりしながら「次はどうなると思う?」と少しずつ話を進めました。生徒たちは登場人物と同じように、ろくべえを助けたいと一生懸命考えて、いろんな意見が出て盛り上がりました。

また、自分の子どもの授業参観に行ったとき、群読を聞いて感動し、生徒たちに「群読の面白さを味わせたい」と思いました。いろいろな詩のリズムや言葉の面白さ、意味の深さなどを一緒に味わい、生徒が面白いと感じるだろう詩を自分なりに群読用の台本にして、やってみました。生徒たちも楽しんで取り組み、「家に帰って家族でやった」という生徒もいました。

子どもの俳句を目にし、すごく面白いと思ったので、俳句の本を読み漁り、面白いと思う俳句をどんどん読ませて「どんな情景だと思う?」と出しました。私が思いもよらなかった情景を発表する生徒もいて、心底「すごいね~!」と思いました。その私の感動が伝わり、「君、すごいな~」わたしは、こう思った「ぼくはこう思った」といろんな情景を聞くことができました。

優れた教材と生徒たちはとっても楽しい時間を私たちにくれます。色々な教材に出会ってたくさんの感動を見つけてください。

(大島敦子 交野支援学校四條畷校分会 35年目)



4月からは「大障教ニュース」です!  
「府障教ニュース」としては、この1671号が最終号になります。4月からは、「大障教ニュース」として新たにスタートします。今後とも、ご愛読よろしく願います。  
情宣部